

2024.6.18

田村まみ参議院議員

医薬品の安定供給確保のため、中間年薬価改定を廃止すべき！ 玉木代表(国民民主党)とともに 武見厚生労働大臣に直接要請！！



左から田村議員、玉木代表（国民民主党）、武見厚生労働大臣

令和6年6月18日

厚生労働大臣 武見敏三 殿

国民民主党

国民の命と生活を守る医薬品の安定供給確保に向けた緊急申し入れ

足下では我が国の創業力の低下と3年に亘る供給不安が継続しており、産業競争力と経済安全保障の観点から喫緊の対応が求められる。

さらに、現役世代の保険料負担を適正化し、持続可能な医療保険制度の構築と国民皆保険制度の給付と負担の両面から不断の改革が求められる。

経済財政運営と改革の基本方針2024（原案）では、安定供給に向けた課題の整理が不十分であることから、国民の命と生活を守る安定供給基盤を再構築するため以下のとおり緊急申し入れをする。

記

我が国医薬品産業の安定供給基盤を再構築するため、中間年薬価改定を廃止することを求める。

○安定供給基盤の再構築に向けて、以下のことを実施するよう求める

- ・20数年間、物価を考慮した見直しが行われていない最低薬価について剤型ごとに見直しを行う。また物価上昇等の影響を価格に反映することが可能な再算定方式を新設する。
- ・医療機関と医薬品卸業の取引における商習慣を変革すべく医薬品流通改善を促進する。
- ・医薬品の生産・在庫・出荷状況を一元管理するデータベースを構築する。
- ・現在の状況を生み出した中央社会保険医療協議会（中医協）の在り方を見直す。

以上